

## (仮称) にぎわい交流館いわつき整備事業について

岩槻に  
観光拠点を!

Q: 人形博物館については、順調に建設・運営・開館に向けて準備が進められているが、にぎわい交流館いわつきについては、今現在どのような状況になっているのか、そのスケジュール、また正式名称、運営方法を伺いたい。

A: (1) 今後のスケジュールについて

(仮称) にぎわい交流館いわつきについては、平成32年2月下旬、人形博物館との同時オープンに向けて準備を進めている。ハード面では、来年度早々に建設工事に着手できるように、現在建物の設計業務を進めている。本年度中には、建設工事に着手できるように設計業務を進めている。本年度中には、建設工事に係る補正予算の議案の提出を予定している。ソフト面の整備は、本年度中に名称、開館時間、利用時間等を定めた設置条例議案を提出する予定。

(2) 正式名称・運営方法

運営方法については、指定管理者制度を導入する方法で検討を進めている。このほか、施設開館後の事業実施に向けては、物販、イベントなど施設の集客にご協力頂ける関係団体よりヒアリング等を実施している。

現在の(仮称) にぎわい交流館いわつきという名称については、これまでも様々な岩槻地域のイベント等などでも度々この名称が紹介され、既に地域になじんでいる。こうした状況も踏まえて、今後検討していきたい。

Q: 人形博物館との連携をどのように考え、進めていくのか。

A: 博物館の入口のにぎわい交流館も整備していく。先行して整備が進められている岩槻人形博物館の敷地の景観計画、一体的なデザインになるように考えている。開館後は、博物館の企画展等と連動したイベントを実施し、物販・飲食の提供など集客力のある事業の実施を検討していきたい。

また、岩槻には、遷喬館や時の鐘を初めとした様々な史跡、名勝が数多くあるので、この施設が岩槻を訪れた方々が域内の周遊するための拠点施設となるよう、この岩槻人形博物館を初めとした色々な施設とも連携し、本市の岩槻、副都心としてのにぎわいの創出の一端を担えるような施設にしていきたい。

※12月議会において名称が「にぎわい交流館いわつき」に確定致しました。

## 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランについて

Q: 中間駅周辺地区・その他東部地域において、基本計画・行動計画を進めていくに当たって、どのように考えているか。

A: 地下鉄7号線延伸協議会において策定したもので、成長・発展プランは、基本計画で東部地域全体の理念、目標、方針を定めるとともに、行動計画では浦和美園周辺地区、岩槻周辺地区および中間駅周辺・その他東部地域の3地区について、それぞれの具体的な事業を定めて実施して行く。

Q: 浦和美園のまちづくりにはどの位の時間を要したか。

A: みそのウイングシティの土地区画整理事業の整備期間については、UR施工の2地区については平成11年6月に都市計画決定、平成13年3月に事業認可、平成18年4月にまち開き、平成29年2月に事業が完了。都市計画決定からまち開きまで約7年間を要している。また、市施工については進捗率が約77%である。

Q: 7年かかって継続中ということは、それなりの時間がかかる。今後のスケジュールをどう考えているのか。

A: 浦和美園駅周辺地区と岩槻周辺地区の両副都心をまず、まちづくりを整備し、鉄道建設に合わせて中間駅周辺地区のまちづくりを進め、鉄道開業時には駅前広場や主要道路を先行整備し、まち開きと同時に一定の定住、交流人口もあることを目指していきたい。



## 都市鉱山からつくる! みんなのメダル プロジェクト



さいたま市は東京2020参画プログラム「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」に参加します。皆様のご家庭でご不要になった携帯電話などの小型家電が金・銀・銅メダルになります。是非回収にご協力をお願い致します。

平成29年5月1日～  
平成31年春頃まで(予定)

回収ボックスによる回収

【回収品目】30センチ×15センチの投入口から入る  
小型家電

【回収場所】区役所、図書館など市内53カ所

回収ボックスに入らないものは  
市内4カ所の環境センターに  
お持ちください。

さいたま市の情報や、取り組み  
まちの話題が満載です!

